

# NEWS RELEASE



「SDGs 協定」と「環境宣言」  
に基づく取り組み



セブン&アイ HLDGS.

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

2019年9月26日

電気自動車のバッテリーや高性能太陽光パネル、「卒FIT」<sup>※1</sup>由来の電力を活用

## “再エネ 100%<sup>※2</sup>”の店舗運営に関する実証実験を開始

9月26日（木）より、神奈川県内のセブン-イレブン10店舗にて順次スタート

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦）は、2019年9月26日（木）より、神奈川県との「SDGs 推進に係る連携と協力に関する協定」と、セブン&アイグループの「環境宣言」に基づく取り組みとして、神奈川県内のセブン-イレブン10店舗において、店舗運営に関する電力エネルギーを全て再生可能エネルギーとして調達する実証実験を開始いたします。これは、セブン-イレブンでは初めての試みとなります。

当社の事業におけるCO2排出量は、大きく分けて「店舗運営」と「物流」の2要素からなり、「店舗運営」にかかる電力消費に起因する部分が約9割を占めています。今回の取り組みは、その電力使用量を全て、発電時にCO2を発生しない再生可能エネルギーに置き換え、結果としてCO2排出量を大幅に削減する実験となります。

その実現のために、日産自動車様の電気自動車「日産リーフ」のリユースバッテリーを活用したフォーアールエナジー様によるオリジナル蓄電池や、カネカ様の発電効率を大幅に高めた太陽光パネルを設置し、自家発電による電力を効率的に活用します。また、発電分以外の電力の調達については、2019年11月から、スマートテック様より「卒FIT」由来の電力を供給いただくことで、自家発電分と合わせ、実質再生可能エネルギー比率100%を達成することが可能となりました。

セブン-イレブンでは、これまでの「ひとと環境にやさしい店舗」等の取り組みに加え、本取り組みも通じ、将来に向けたCO2排出量の大幅な削減に努めてまいります。

※1：FIT=Feed-in Tariff の略で、固定価格買い取り制度を指す。生産エネルギーの買取価格を固定する助成制度。19年11月より、制度の期限切れを迎える太陽光発電電力が順次発生する見込み。

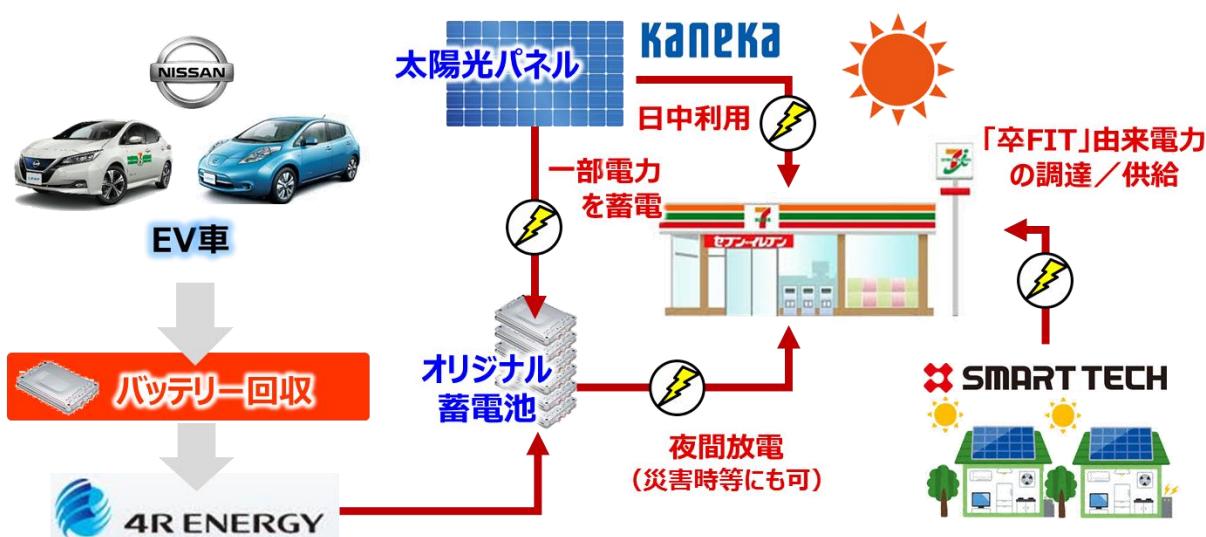
※2：店舗における発電・蓄電活用と、「卒FIT」由来の電力の活用を合わせ、実質再生可能エネルギー比率100%を実現。

### « 概要 »

◆店舗エリア：神奈川県の一部のセブン-イレブン（合計10店舗）

◆実証開始：2019年9月26日（木）11:00より順次開始

◆取り組みイメージと概要



## ◆設備等概要

### 再生可能エネルギーを〈貯める〉

#### 「日産リーフ」のリユースバッテリー を活用した蓄電池

日産自動車株式会社 様

フォーアールエナジー株式会社 様

- ◆1基につき電気自動車「日産リーフ」1台分のリユースバッテリーを活用したオリジナル蓄電池。
- ◆動力に活用できる電力の供給も可能。これにより、停電時等においては店舗の冷蔵ケースを稼働させることが可能となる。
- ◆電池の転用に関する評価規格「UL1974」<sup>※3</sup>に基づく認証を世界で初めて受けた工場で電池を再生。
- ◆容量：40kWh/基

※「日産リーフ」営業車も試験導入いたします。



▲「日産リーフ」営業車イメージ

▼オリジナル蓄電池



### 再生可能エネルギーを〈創る〉

#### 高性能太陽光パネル

株式会社カネカ 様

- ◆ヘテロ接合技術<sup>※4</sup>を用いることで良好な発電効率と温度特性を持つ、高性能の太陽光パネル。
- ◆両面受光構造<sup>※5</sup>を採用し、裏面でも発電することで、より高い発電量を実現。
- ◆2019年のセブン-イレブン標準店舗ではパネル90枚(212.4m<sup>2</sup>) / 28.8kWの敷設が可能。



▲高性能太陽光パネル

### 再生可能エネルギーを〈調達する〉

#### 「卒FIT」由来の電力の活用

➢2019年11月1日より開始

株式会社スマートテック 様

- ◆2019年10月いっぱい買取期間終了を迎える「卒FIT」由来の電力を調達し、店舗電力として供給。
- ◆一般家庭の太陽光発電による電力の供給を受けることで、店舗運営における再生可能エネルギー比率を実質100%まで引き上げることが可能。



▲家庭用太陽光発電のイメージ

※3：米国の第三者安全科学機関ULによる、電池の転用に関する評価規格。2018年10月に発行された。EV駆動用等の目的で製造・使用された電池パックやモジュール、セルを選別・分別するためのプロセスを定めている。

※4：物性の異なる半導体材料を接合する技術。

※5：太陽光パネルの両面で発電するもので、太陽光が直接照射されるパネル表面だけでなく、パネル裏面に入る光も活用して発電し、発電量を増加させる。

## ＜ご参考＞

### ◆セブン・イレブンの「CO2 排出量削減」に関するこれまでの取り組みについて（抜粋）

#### ・セブン・イレブン店舗への太陽光パネルの設置

➢ 約 8,000 店舗（2019 年 8 月末現在）の屋根に太陽光パネルを設置。店舗電力として活用

#### ・配送用 EV トラック、FC（燃料電池）小型トラックの試験導入

➢ 物流における CO2 排出量削減に向け、環境配慮型の配送トラックを試験的に導入

#### ・『ひとと環境にやさしい店舗』セブン・イレブン千代田二番町店の取り組み（テスト）

➢ 2017 年 12 月に開店。純水素燃料電池等の採用により、約 28% の電力使用量を削減

#### ・『ひとと環境にやさしい店舗』セブン・イレブン相模原橋本台 1 丁目店の取り組み（テスト）

➢ 2018 年 5 月に開店。路面太陽光パネルや大容量蓄電池を採用し、約 46% の再エネ比率を実現

### ◆『SDGs 推進に係る連携と協力に関する協定』について

- ・2019 年 4 月 17 日に、神奈川県とセブン&アイ・ホールディングスが締結。
- ・SDGs の達成に向け、相互に連携して取り組むことにより、県内各地域におけるより一層の活性化に資することが目的。
- ・連携事項 (1) エネルギーの地産地消に関するこ  
(2) プラスチックごみ問題に関するこ  
(3) 未病を改善する取り組みに関するこ  
(4) 共生社会の推進に関するこ  
(5) その他、SDGs の普及啓発及び達成に向けた取り組みに関するこ



### ◆セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』



- ・2019 年 5 月 8 日にセブン&アイ・ホールディングスが発表。
- ・お客様やお取引先様をはじめ全てのステークホルダーの皆様と共に“豊かで持続可能な社会”的実現に向け取り組んでいくことを宣言。
- ・4 つのイノベーションチームを立ち上げ、グループ横断での対応を推進。
- ・『GREEN CHALLENGE 2050』の内容

目指す姿	具体的な取組	2030 年の目標	2050 年の目指す姿
脱炭素社会	CO2 排出量削減	グループの店舗運営に伴う排出量 30% 削減（2013 年度比）。 自社の排出量（スコープ 1+2）のみならず、スコープ 3 を含めたサプライチェーン全体で削減を目指す。	グループの店舗運営に伴う排出量 80% 以上削減（2013 年度比）。
循環経済社会	プラスチック対策	オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する容器は、環境配慮型素材（バイオマス・生分解性・リサイクル素材・紙、等）50% 使用。	オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する容器は、環境配慮型素材（バイオマス・生分解性・リサイクル素材・紙、等）100% 使用。
		プラスチック製レジ袋の使用量ゼロ。使用するレジ袋の素材は、紙等の持続可能な天然素材にすることを目指す。	—
	食品ロス・食品リサイクル対策	食品廃棄物を発生原単位（売上百万円あたりの発生量）50% 削減（2013 年度比）。	食品廃棄物を発生原単位（売上百万円あたりの発生量）75% 削減（2013 年度比）。
自然共生社会	持続可能な調達	食品廃棄物のリサイクル率 70%。	食品廃棄物のリサイクル率 100%。
		オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する食品原材料は、持続可能性が担保された材料 50% 使用。	オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する食品原材料は、持続可能性が担保された材料 100% 使用。

以上